

平成28年度第9回公立大学法人熊本県立大学教育研究会議 議事録

日時：平成28年12月12日（月）11時00分～11時50分

場所：熊本県立大学大会議室

出席：学長	半藤 英明
副学長	津曲 隆
事務局長	仁木 徳子
文学部長	砂野 幸稔
環境共生学部長	松添 直隆
総合管理学部長	黄 在南
アドミニストレーション研究科長	宮園 博光
地域連携・研究推進センター長	堤 裕昭
学術情報メディアセンター長	村尾 治彦
熊本日日新聞社新聞博物館企画委員	平野 有益
崇城大学教授・九州大学名誉教授	山田 耕路

事務局：本田事務局次長、多田隈教務入試課長、坂本学生支援課長、前田総務課長、花村企画調整室長、福島地域連携・研究推進センター事務長、安達学術情報メディアセンター事務長、教務入試課福永班長、同課松本参事

1 開会（進行：本田次長）

2 学長挨拶

3 議事（議長：半藤学長）

(1) 審議事項

① 平成29年度入学者選抜における合格者の決定について

事務局教務入試課から、資料1-1に基づき、「特別選抜として推薦入試ほかの試験を実施し、各学部の教授会で可否の判定を行ったので、御審議をお願いする。試験は12月4日に実施し、推薦入試は73名の募集に対して115名の志願者、農業・林業・水産科推薦入試と帰国子女入試は若干名の募集に対してそれぞれ1名の志願者があった。くまもと夢実現推薦入試と社会人入試は志願者がなかった。一般の推薦入試は環境資源学科を除き、県内高校を対象としている。環境資源学科の推薦入試は募集3名のうち2名以上を県内高校枠としており、県外高校の志願も可能である。審議内容の詳細については、資料1-2に基づき、各学部長から説明していただく。」との説明があった。

1) 推薦入試

砂野文学部長から、「日本語日本文学科は、募集人員5名に対し、受験者9名。小論文と面接を実施。上位5名までを合格としたい。英語英米文学科は、募集人員7名に対し、受験者10名。小論文と面接を実施。上位7名までを合格としたい。」との説明があった。

松添環境共生学部長から、「環境資源学科は、募集人員3名に対し、受験者10名。小論文と面接を実施。上位3名を合格としたい。居住環境学科は、募集人員4名に

対し、受験者5名。小論文と面接を実施。上位4名までを合格としたい。食健康科学科は、募集人員4名に対し、受験者15名。小論文と面接を実施。上位4位までを合格としたい。」との説明があった。

黄総合管理学部長から、「総合管理学科は、募集人員50名に対し、受験者66名。総合問題と面接を実施。上位50名までを合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

2) 農業・林業・水産科推薦入試

松添環境共生学部長から、「若干名の募集に対し、受験者1名。小論文と面接を実施。合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

3) 帰国子女入試

松添環境共生学部長から、「居住環境学科について、若干名の募集に対し、受験者1名。小論文とプレゼンテーションを実施。合格基準に達しており合格としたい。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

② 総合管理学部新カリキュラム（案）について

黄総合管理学部長から、資料2に基づき「総合管理学部のカリキュラム改定については、理念から見直しを行い、昨年度新理念、教育研究上の目的、3つのポリシー案及び新カリキュラム改定素案についてご承認いただいているが、その後も平成29年度からの施行に向けて具体的な事項について学部で検討し、新カリキュラムを策定した。新カリキュラムでは理念を実現するため、低学年次は特定の分野に偏らずに学び、社会的諸課題解決に向けた理論と実践の方法を身につける総合管理の基礎となる科目を配置、その後多様な分野に展開していく構成である。また、演習を1年次から4年次まで連続して配置し、一貫した少人数教育を行えるようにした。昨年度の素案から一部科目区分名称と開講期を変更したほか、科目名等に軽微な変更をしている。」との説明があった。

審議の結果、案のとおり承認した。

4 その他

次回日程 平成28年度第10回12月19日（月）午後1時～本部棟2階大会議室

5 閉会